

ウッドシティ TOKYOモデル 建築賞 受賞作品集





ウッドシティTOKYOモデル 建築賞について

概要

東京都では、木材の大消費地・東京において、新たな木材需要を喚起することで、多摩地域をはじめ全国の森林循環を促進し、林業・木材産業の成長を図ることを目指しています。この度、大都市東京において木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物又は木質空間を表彰するコンクールを実施しました。

応募対象

- ・東京都内に所在すること。
- ・公開可能な非住宅の施設であること。
- ・構造材や内装材などの全部又は主要な部分に国産材を使用していること。
- ・直近5年以内（平成25年4月1日から募集開始の前日まで）に竣工した木造及び混構造建築物、又は直近5年以内に木質化した空間。
- ・建築基準法等各関係法令を遵守していること。
- ・同一の建築コンクール等において、知事賞や大臣賞の受賞歴がないこと。

審査における着眼点

- ・国産材の特徴や良さを活かし、有効活用しているもの
- ・先進的な木材利用の普及に寄与するもの
- ・都市部における建築物の木造化、木質化への波及に寄与するもの
- ・建築物又は木質空間として優れたデザインであるもの
- ・建築等の過程において女性が活躍したもの（女性活躍賞のみの審査項目）

表彰

優秀作品については、最優秀賞（1点）・優秀賞（1点）
女性活躍賞（1点）・奨励賞（7点）を贈呈しました。
P3より紹介します。

ウッドシティ TOKYOモデル 建築賞 受賞作品集 目次

最優秀賞

01 みやむら動物病院 P4

優秀賞

02 星野リゾート OMO5 東京大塚 P6

女性活躍賞・奨励賞

03 日本橋とやま館 P8

奨励賞

04 大学セミナーハウス
Dining Hall やまゆり P10

05 山香煎餅本舗 銀座店 P12

06 猿楽十方楼 P14

07 松濤ラナイ(シェアオフィス) P16

08 G735 Gallery P18

09 TurnTable P20

受賞作品所在地情報 P22



※受賞作品ページ掲載の図面中の縮尺表示について
一部の図面中にある縮尺表記は受賞者から提供された図面原本のものです。
図面原本を本誌のサイズに合わせ縮小など行いレイアウトしていますので、誌面上で縮尺は正確ではありません。



南面ファサード 150mm厚の木層ウォールの上に透湿防水シートと通気層を設け、30mm厚のLVL仕上材を貼っている。

01 最優秀賞 みやむら動物病院

～LVL木層ウォールによる準不燃都市木造建築～

受賞者

株式会社 ATELIER OPA
有限会社ビルディングランドスケープ
株式会社くらし工房大和

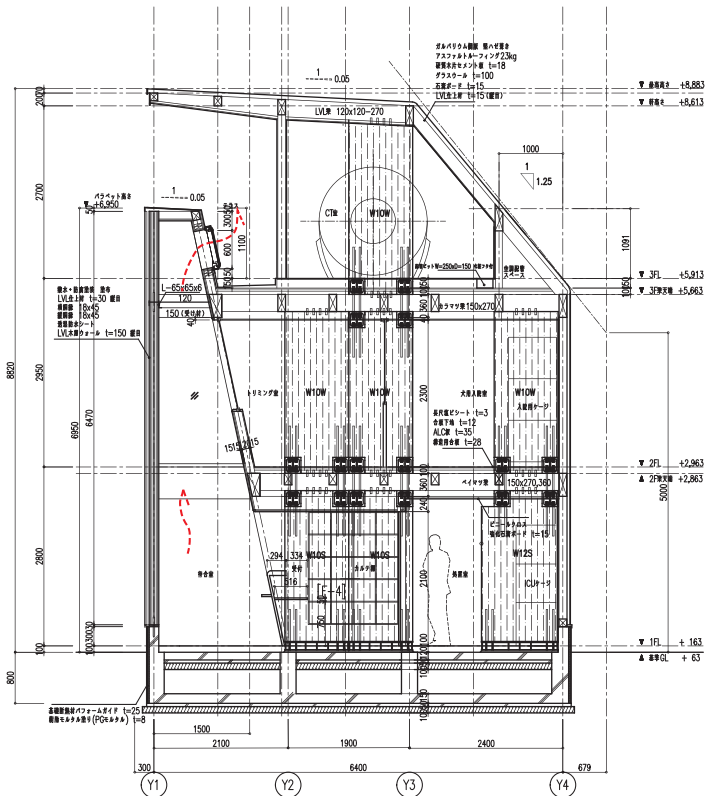
地域で人気の動物病院の移転増床にあたり、区画整理で拡幅された道路に広く南面が広く接した細長い敷地に4つの診察室や入院、手術、CT装置等の設備と、居心地の良い待合室や受付等の接客空間を備えた建築が要望された。

待合室と道路とを隔てる南面の外壁と、東西面内外壁の一部に、構造材としてLVL（単板積層材）による厚板壁「木層ウォール」を先駆的に採用した。「木層ウォール」は全国LVL協会の開発に私達も参画したもので、厚さ150mmの構造体であると同時に、無被覆で外壁として一時間準耐火の大臣認定を取得している。これはLVL特有のラミナ積層面の美しさを引き出すための建築材料でもあり、その特徴を活かした意匠を重視して設計した。

接客空間となる待合室は、限られた幅でも居心地良く過ごせるように吹抜とし、「木層ウォール」の積層面をあらわして用いた。上層階で要求される手術室やトリミング室の面積を確保するため上に行くほど吹抜の幅を狭め、上昇感のある断面とした。縦穴区画となる面には強化石膏ボードの上に15mm厚の仕上用LVL材を用い、3階医局サロンと共に積層面に包まれた空間を創出した。

南側外壁の屋外側は、耐候性をもたせるため構造材であるLVL壁柱の外側に透湿防水シートと通気層を施し、撥水防汚塗装をした30mm厚のLVL材を将来交換が可能なかたちで貼り、仕上げた。これにより内部空間はもとより、街並の中にも、木の持つ豊かな表情を活かした景観を創出することができた。

撮影：齋藤さだむ



A-A' 断面詳細図 縮尺 1:100

所在地：東京都江戸川区中央

設計：鈴木敏彦／ATELIER OPA + 西澤高男／ビルディングランドスケープ

LVL技術監修：山代悟／ビルディングランドスケープ

施工：大和工務店



待合室内観 1時間準耐火構造の木層ウォールLVL積層面をあらわして用いている



3階医局サロン LVL仕上材を床・壁・天井に使用



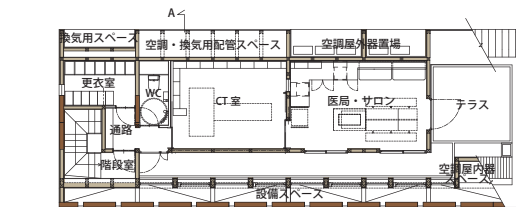
待合室受付 診察室側は壁区画のため強化石膏ボードの上にLVL仕上材貼り



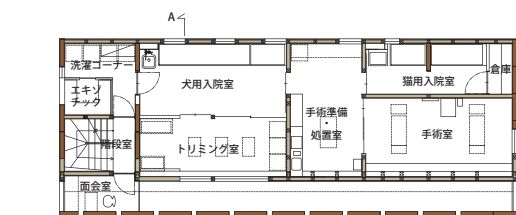
1階診察室 LVLの壁柱があらわとなっている



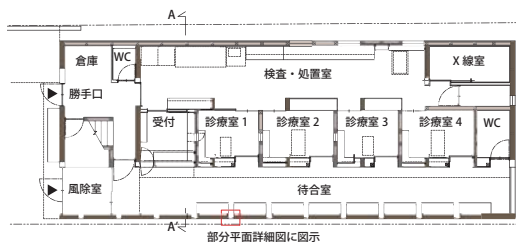
2階トリミング室 開口部から待合室のLVL木層ウォールが見える



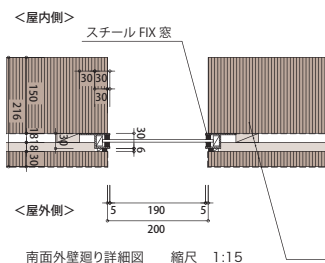
3階平面図



2階平面図



1階平面図 縮尺 1:200



LVL構造材t=150 縦目
透湿防水シート
縦筋線18×45
横筋線18×45
LVL仕上材t=30 縦目
撥水防腐塗装



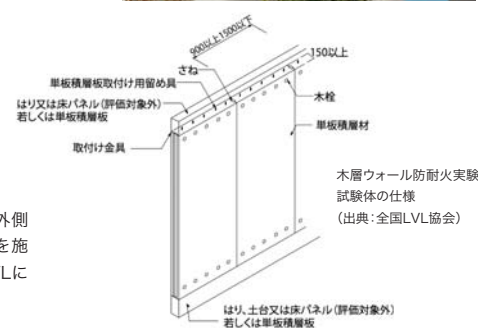
南側外壁側は、耐候性をもたせるために LVL 外側に透湿防水シートと通気層を取り、撥水防腐塗装を施した 30mm 厚の仕上用 LVL を施すことで、LVL によるマッシュな壁の印象を作り出している。

南側の主立面に立ち並ぶ木層ウォールは、厚さ 150mm の構造体であると同時に、私達も開発に参画し、無被覆で外壁として一時間準耐火の大臣認定を取得している。

本建築はこの木層ウォールを利用した実践的・先鋭的な取組みであり、良質な木質建築空間普及への貢献を目指している。



木層ウォール試験体 燃焼実験の様子



最優秀賞受賞概要

東京都江戸川区中央に所在しており、LVL木層ウォールを活用した準不燃の都市木造建築。使用されている国産材で主なもの山梨県、長野県産のカラマツで、LVLに加工され、活用されている。本作品については、耐火規制が厳しい準防火地域で木をあらわして使うため、全国LVL協会と共同で開発した木層ウォールという無被覆で外壁として一時間準耐火の認定を受けた先駆的建築材料を用いた点、また、その導入に際し、実践的な防耐火の実証実験を実施している点などが評価された。



パブリックエリア全景

02 優秀賞 星野リゾート OMO5 東京大塚

受賞者

株式会社佐々木達郎建築設計事務所



チェックインカウンター



カフェバーカウンター

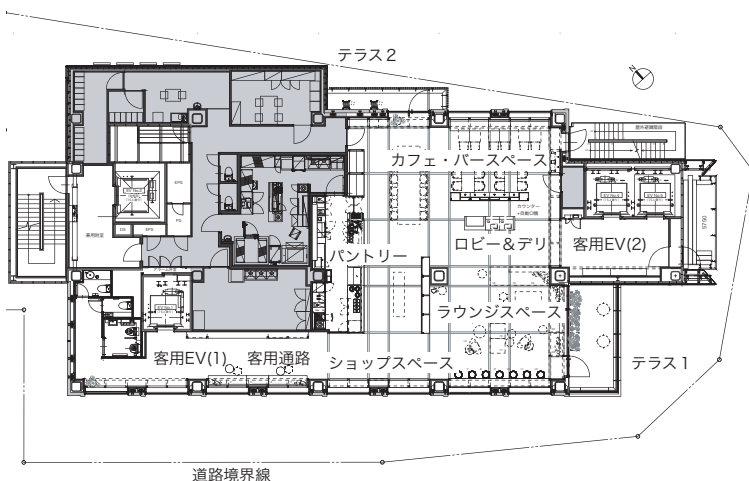
木材でつくられた旅のための籠（かご）

このホテルは、星野リゾートが運営するツーリストのための都市観光ホテルです。JR山手線大塚駅北口から近い都電荒川線に隣接した敷地に計画されています。かつて旅人の立場として賑わったことから、旅籠をヒントにし、旅のための籠（かご）をデザインコンセプトとしています。3寸角のヒノキの国産材が籠（かご）状に組まれた大きな木軸空間に、カフェやラウンジ、ライブラリーやカウンター等、様々な機能を設えています。おおらかな木軸フレームに囲われ、ゲストが思い思いに過ごせる居場所を木軸と一体化しながらつくりまします。

客室は、20㎡の小さな空間を立体的に利用し、滞在を楽しむ仕掛けを木製家具により計画しています。3寸角のヒノキ材を採用した高床式ベッド、小上がりとなるソファ、多機能な壁面収納等、立体的で多機能な木製家具により客室を構成します。玄関で靴を脱ぎ畳でリラックスすることや、無垢の木材の感触を感じる等、日本的な寛ぎのかたちを取入れ客室空間がつけられています。

インテリアでの木材利用の可能性として、3寸角（90mm）のヒノキの角材を主要なマテリアルとして採用しました。家具として角材を採用するにあたり、3.5、4寸といった見慣れた構造材のスケールではない、家具スケールでの木軸空間を実現しています。また、プレカットの加工により、家具製作での経済性、施工性の合理化をはかり、この空間を実現しています。

撮影：ナカサ&パートナーズ



パブリック 平面図 scale=1:500

所在地：東京都豊島区北大塚

主要用途：ホテル / 構造：S造 階数：地上階13階 / 敷地面積：888.58㎡
建築面積：596.04㎡ 延床面積：(ホテル部門) 4579.94㎡ 最高高さ：49.870mm / 最高軒高：44.320mm



ラウンジ



ショップ



ライブラリー



客室:やぐらルーム



大テーブル



客室:箱階段



客室:仕掛け壁



客室:くつろぎ寝台



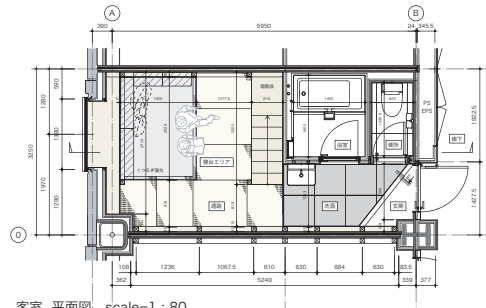
カフェ・バーラウンジ



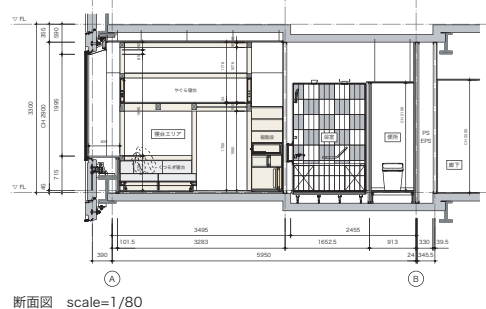
南側外観



ご近所マップ



夜のバーカウンター



エントランス

優秀賞受賞概要

東京都豊島区北大塚に所在しており、木材でつくられた旅のための籠(かご)がコンセプトとなっている木質空間で、空間に活用されている国産材はすべて福島県産材となっている。

本作品については、三寸角のヒノキを主要なマテリアルとして、一般的に住宅などにも利用されるプレカット加工技術を活用し、メンテナンス性も感じられるものとなっている点、内装制限がある中、家具等を上手に組み合わせ、デザイン性に優れた木質空間を形成している点などが評価された。



03

女性活躍賞・奨励賞 日本橋とやま館

女性活躍賞 受賞者

館長 山下 章子

奨励賞 受賞者

富山県

株式会社 乃村工藝社

日本橋とやま館の概要

日本橋とやま館は、「富山の質なライフスタイル」を発信する首都圏情報発信拠点。富山らしさをどう表現し、富山の魅力をどう伝えるかが課題であったが、その一つの答えが県産木材の積極的活用であった。

設計者・施工業者は「新たな魅力を共に創っていく富山の人・地域との交流の中にこそ、富山らしさを発見する手がかりが隠されていた。職人との交流の中で、彼らのモチベーションやショップへの愛情を感じた。」と言う。富山の人や富山の木材資源を活かし、それを価値に変え、首都圏で発信する。富山の人々が誇りに思い自慢できる場所となる。アンテナショップの新しいかたちである。

富山県の県産木材の原木、製材、加工品など様々な工程段階の材料を設計者・施工者が現地で選定、調達し、地元の職人の技術によって床材や家具、装飾品などのかたちに変えられ、活かされている。

日本橋とやま館のショップ、レストランと交流スペースとを仕切る格子壁は施設のシンボルともいえる。この格子壁は、富山県のシンボルである「立山連峰」の画像をもとにデジタル解析され、デザインを決定した。また、不燃処理が必要であったことから、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の内装壁面に採用されていた富山スギ突板貼りダライラト不燃パネルの製造元である大建工業（株）富山工場でパネルを製作し、東京で加工後、格子状に組み立てたものである。



メインエントランス

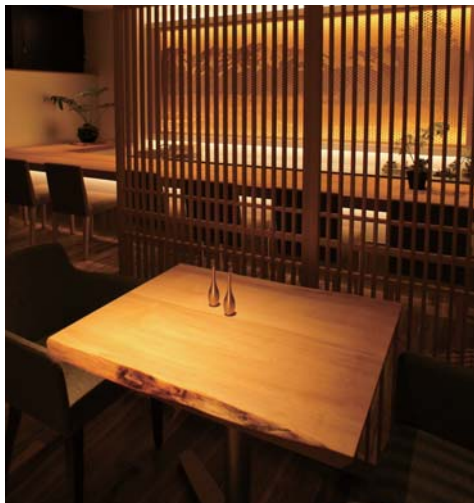
所在地：東京都中央区日本橋



①交流スペース、ショップ入口/床フローリング・格子壁



②バーラウンジ・格子壁



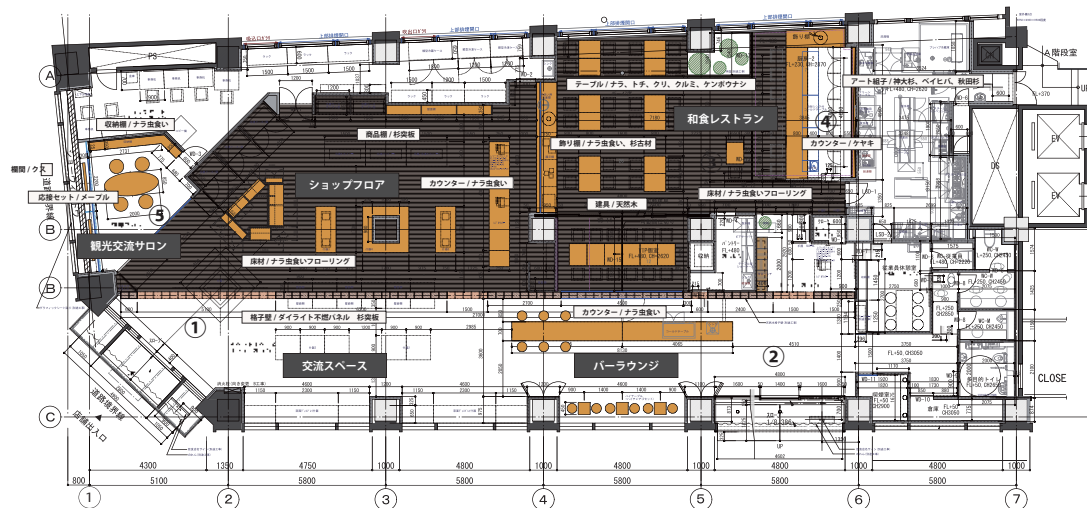
③和食レストラン/床フローリング・建具・飲食テーブル



④和食レストラン/アート組子(海越しの立山連峰)・カウンター



⑤観光・交流サロン/井波彫刻欄間・応接セット



施設平面図 S=1/200

女性活躍賞

日本橋とやま館は、東京都中央区日本橋に所在し、「富山の上質なライフスタイル」を発信するアンテナショップとなっており、空間内には富山県産材が空間の意匠として上手く活用されている。

山下氏は、施設の立ち上げ前はプロジェクトリーダーとして、施設に使用する木材の調達に関わる等の活躍を、開館後は館長として女性の感性を活かした店舗づくりを実施するなど、本施設の立ち上げから運営まで一貫して活躍されている。



客席から丹沢山系と富士山を望む西を見る

04

奨励賞

大学セミナーハウス Dining Hall やまゆり

受賞者

有限会社 七月工房

サイト一級建築士事務所

相羽建設株式会社

在来木造住宅の流通材と技術で公共的な施設を建てる

多摩丘陵に建つ研修施設〈大学セミナー・ハウス〉の開設は1965年。自然の地形を活かして、増築を重ねてきた建築群に、開設50周年の記念事業として〈新食堂棟 やまゆり〉を新たに建設した。

敷地は見晴らしのよい尾根。傾斜地にコンクリートの人工土地をつくり、在来木造住宅の技術で公共的な施設を建てる。

- ・ 建築を職人の手に取り戻し、継続的な維持管理を可能にする
- ・ 建物の軽量化と、コストの削減
- ・ 自然の中に木の柔らかな空間を創る

地産地消、地域の材料、地域の職人

〈やまゆり〉は在来の伝統技術を持った職人の手で、多摩産の流通材料で建てる。低コストで品質の良い木造住宅を建てるために開発を始めた〈木造ミノ住宅〉の工法を応用した施設である。

4間×4間の構造単位とし、外周部3面に構造壁をつくり、住居単位を連続させ10間×8間の開放的な客席とした。内部は4寸角の独立柱。客席は約200席。グループ、レセプションなど、様々な単位のゾーン区分の利用を考え、柱を活かした自由な平面を計画した。

現在、鉄筋コンクリートのメンテナンスは社会的な課題である。建物の手入れをして使い続けるために、職人の手で維持管理ができる住居の技術で建設することにした。このように、地域の人を使う中小公共建築物を地域産の規格製材で地域の工務店が建てることで、地域経済活性化の一助になると考える。



アプローチからのぞむ多摩丘陵



在来工法の上棟

所在地：東京都八王子市下柚木



配膳スペースから見た客席、バルコニーと、横トップサイドライトからの光



アプローチから見たエントランス



人工土地の上に建つ木造の食堂棟



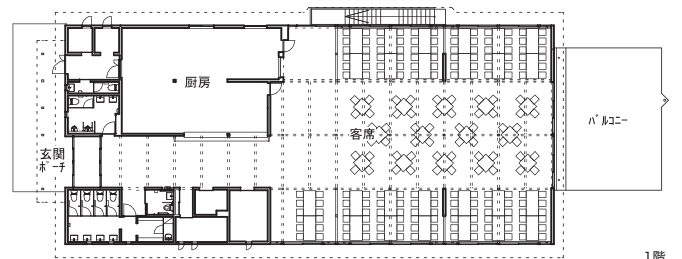
地下1階のテラスと1階のバルコニー



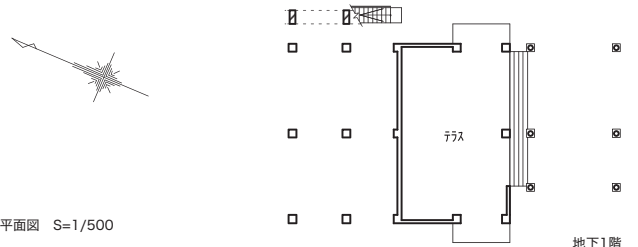
客席とバルコニー



空から見た大学セミナーハウス、右下に DININGROOM やまゆり (大学セミナーハウス提供)

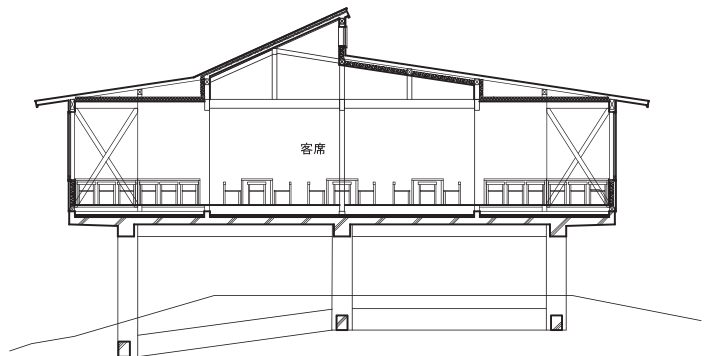


1階



地下1階

平面図 S=1/500



断面図 S=1/200



軸組図 S=1/500



30×40の規格材のみで構成された店舗空間。ルーバーが室内を包み込む

05

奨励賞

山香煎餅本舗 銀座店

受賞者

稲山真則建築設計事務所

煎餅づくりになぞらえ、
単一規格材で構成した広がりのある店舗空間

埼玉の草加せんべいを販売する、山香煎餅本舗 銀座店の内装設計。銀座のすずらん通りに面した路面店で、ギャラリーとして使用されていた約25㎡の小さな空間を改修した。山香煎餅本舗は素材にこだわり、ほぼお米のみでつくられるお煎餅にない店舗空間も単一素材のみでつくことにした。

具体的には店舗空間を30mm×40mm×4000mmの既成品のヒノキ角材のみで構成した。

店舗空間の断面サイズが幅約3.3m、高さ約4mのため一般的に購入できる4mの角材を継ぐことなく壁や天井を構成することができ、壁・天井だけでなく商品棚・レジカウンター・ベンチ等の什器に至るまで全て同じ角材（無塗装）で製作することができた。

その為、大工事のみで多くの工事ができローコストかつ短期間で工事を行うことができた。

壁・天井に使用する角材には、内装制限をクリアするために不燃液を木材内部に浸透させる浸漬方式による不燃加工を施してある。また、天井高さを利用したふところ約1mの奥行きの天井の中には照明や、エアコン、空気循環のためのファンを内蔵している。

どこにでも流通している角材に様々な加工を施してつくる空間は、お米を様々な手法で調理するお煎餅のつくり方に通ずるところがあり、空間コンセプトと商品コンセプトが一致したストーリーのある店舗をつくることができた。

小さな店舗だが、小さな同一素材の集合でつくることにより統一感がある一方で、発見的で密度のある空間をつくることを試みた。

撮影：鳥村鋼一

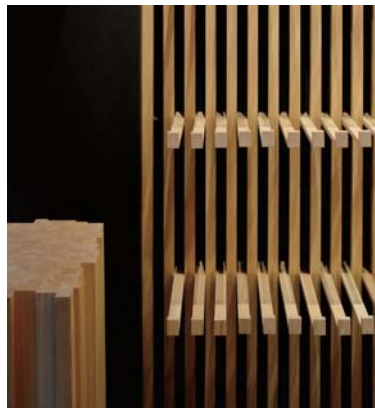
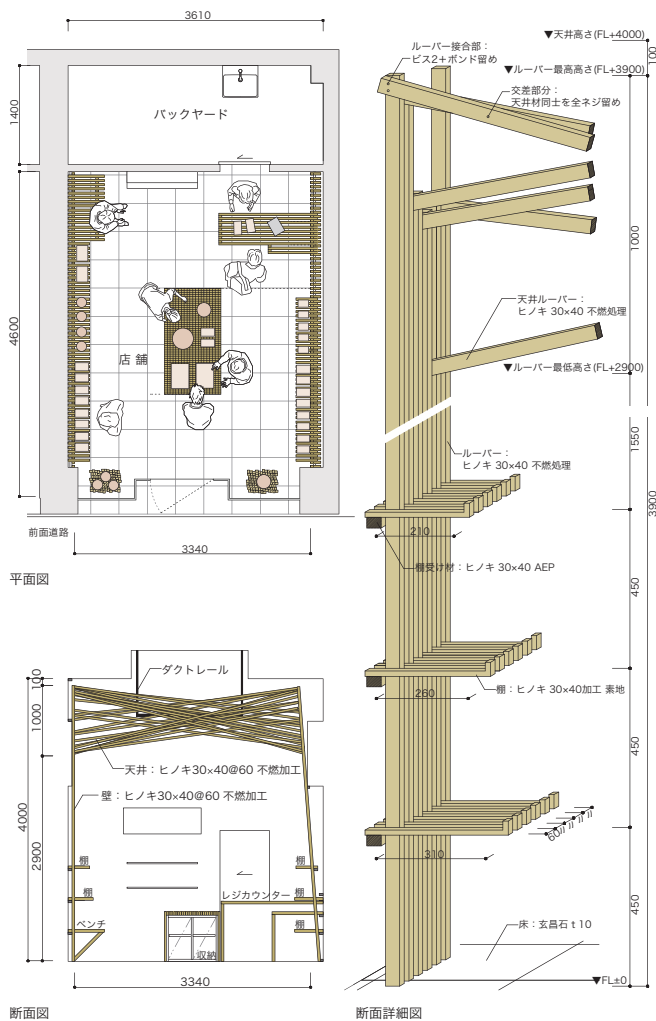


店内から前面道路を見る

所在地：東京都中央区銀座
用途：物販店舗（路面店）
面積：25.01㎡（店舗部分）



天井や壁だけでなく、商品棚やレジカウンター等の什器に至るまで30×40の角材でつくる



商品棚のディテール



造り付けのベンチ



使用するヒノキ材は全て無塗装で使用



前面道路より見る



06 奨励賞 猿楽十方楼

受賞者

平井政俊建築設計事務所

店舗、スモールオフィス、仕事場付き多世帯住宅からなる職住混在木造ビル。生活空間の内部や近くに自分や他者の仕事場があり、「働く」ことが「生きる」ことの一部として召還されていて、仕事と生活の間に行き来が生じる。マンションやオフィスビルとちがって職住が混在し関わり合い、双方に跨がる人間関係やコミュニケーションが生まれて都市に生きる新しい共同体を創出することを目指す。

都心において経済的に成立する面積を得るには、狭小変形三角形かつ二面接道で高さ制限が厳しい敷地一杯に4層分の床が必要となる。地形の勾配を内部に引き込み、天空率と日影規制に適合するようスキップフロアで構成。床下が必要な水回りでは、CLT（直交集成板）床版を傾斜させ、排水勾配に利用しつつ本来余る床下懐の一部を下階へ譲ることで天井高を得た。同時に床版の傾斜と開口をヴォイドや借景に向け、通りを行く人が傾斜面を見てより木架構を伺えるなど、CLTの巨大板の架構が都市と居場所を練り上げるように連関させる。

岡山西栗倉産をはじめとするスギ・ヒノキのCLTを用いて少ない耐力壁長で組み上げ、細い敷地でも明るく開放的な空間を得た。1時間準耐火構造の燃え代設計とし、外壁の開口部は延焼を防ぐ市松配置。バルコニー等はCLTによる跳ね出し、都市に開放する室内風景を生みつつ国内山村生まれの巨大な素材がそのまま現れて、耐震性と耐火性が高いCLTが担う地域と都市を繋ぐ役割を可視化した。



所在地：東京都渋谷区猿楽町



十方（多様な環境ネットワーク）に連関した居場所の構築を行うことで、主体にかかわらず空間の成り立ちを身体的に経験することができ、「生きる」ことの断片化を繋ぎ直すコモンセンスとして共有できると考えた。柔らかな木の架構がそれを強く支えている。

1. 経済

限られた敷地条件に要望されたプログラムおよび面積を得るため、店舗を半地下とし、スモールオフィスと仕事場付き多世帯住宅をその上に載せた。厳しい高さ制限のなかで4層と塔屋と屋外空間を立体的に配置し、最大床面積を得ながら、3つの経済活動が通りと直接つながる路面店のような佇まいになる。

2. 素材

地上階の構造体には岡山県西栗倉をはじめとするスギ・ヒノキの49枚のCLTを用い、日本の農山村から生まれたマテリアルが都市に織り込まれ、自由に振る舞いながら空間を練り上げていて、地方と都市が離れていながら繋がっていることをそのまま伝えている。一方都市に対する構造的、耐火的要素には金属メッキ等を使った。

3. 地形

旧山手通りの台地と渋谷川をつなぐ谷状の勾配地形が、古くから風と人の通り道になっている。猿峯の地形勾配を建築に取り込み、前面道路に合わせて建築をスキップフロアとし、3つの入り口が人や風の流れを迎えるように捕まえる。植栽やベンチや自転車の場所も連続的に配して、流れに沿うようにしている。

4. ヴォイド

高密度な東京都心であっても、周辺には江戸近世から現代までに生成されたヴォイド空間が散在している。それらを捉え、つなぎ直すことで開放的な生活環境を得る。そこに見える景色から話題や会話が生まれるだろうし、ここで働き暮らすことがより建物内にとどまらないより開かれた関係性の中にあることを感じられるようになる。

5. 庭

富士山の方角を向いた近世からある小道に対し、昭和初期に整備された通りが交差することでできたヘタ地が今回の敷地で、細くくびれた三角形。周辺に目をやると向かいのヘタ地や他にも小さな庭が通り沿いの風景があるので、こちらもそれを引き継いで、敷地の先端や角に小さな庭を配し庭のネットワークに参加している。

6. 光

日影規制と天空率によって導かれた最大ボリュームにより、道路斜線では不可能だった高さで塔屋を設ける。この塔屋より下は冬のあいだ南側マンションの影にほぼすっぽり入ってしまう。そこで塔屋東南側に大きな開口を取り直達光を取り込み、パンチングメタルの階段でディフューズされた光を下階に届ける。

7. 水

CLT床版を一部傾斜させることで水廻りやキッチンの排水勾配を取り、通常であれば何にも使えない床下フトコを下階に譲り渡し、高さ制限が厳しい中でも天井高を確保。屋根版も傾斜させ、日影や天空率に適合させながら屋根面に降った雨を素早く排水させる。建物内に起こる見えない水の振る舞いも大切な要素として扱う。

8. 熱

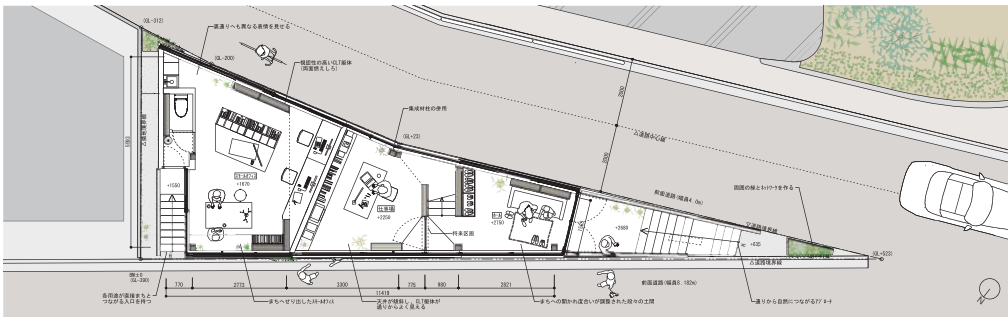
高さが10mあり煙突の役割を果たすパンチングメタル階段のある住宅部。夏は階段を暖気が上昇し塔屋に熱だまりをつくり、卓越風を利用して排気し熱を逃がす。冬は逆に強制対流ファンで、熱を下階へ戻し空調効率を高める。人とともに熱、気流、光が上下する環境装置。CLTの断熱性、調湿性、低熱容量による熱環境効果も高い。

9. 火

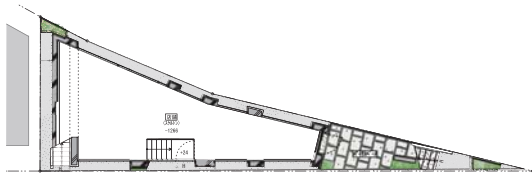
大規模木造建築物なので高度な耐火性能が求められる。外壁の開口部は下階の火災が上階へ延焼しない措置を取り、通りに対して水平に開口部が連なるB1階、1階は窓の上下間延焼を防ぐ庇を設けた。居住空間である上階は、市松状の配置で延焼を防ぐ。都市からのアクセシビリティに応じて開口部と火の関係性に差異を与えている。

10. 風

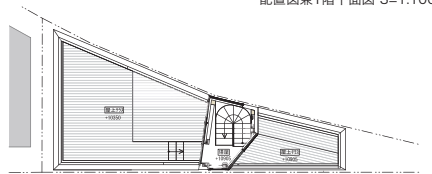
地上10mの地表付近では西の台地から通りに沿った東向きの風が優勢。それを取り込むため西側の立面は全て開口部とし、風量を制御し易い引き違い窓を主とした。パンチングメタルで階段が風の道となり、塔屋から風が抜け、その上昇気流に引っ張られ、各室の窓を少し開けると新鮮空気を得られる。



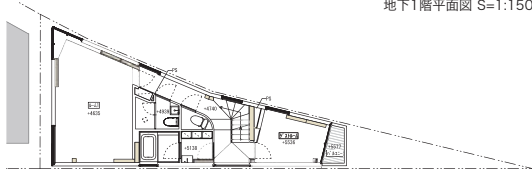
配置図兼1階平面図 S=1:100



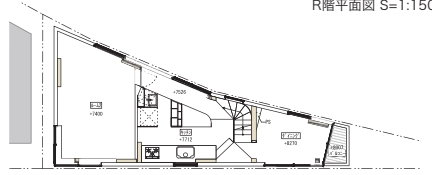
地下1階平面図 S=1:150



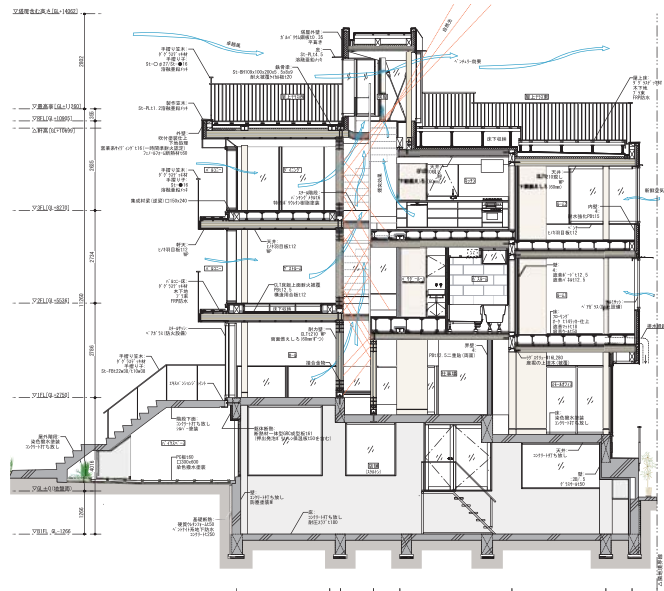
R階平面図 S=1:150



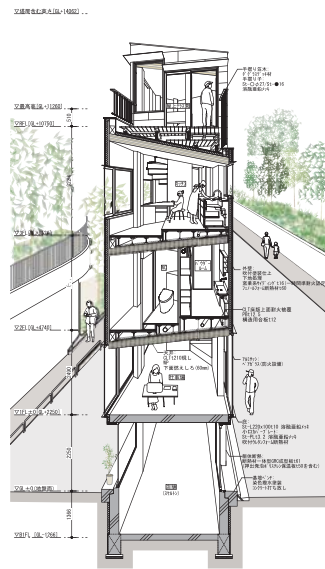
2階平面図 S=1:150



3階平面図 S=1:150



断面詳細図 S=1:100



断面詳細バース S=1:100



廊下から各シェアオフィス個室部分を見る 写真:鳥村綱一写真事務所

07 奨励賞 松濤ラナイ (シェアオフィス)

受賞者

Sデザインファーム株式会社

5800個の小さな木材を積み上げたシェアオフィス

国産材は、原木から製材する際に残る未利用部を有効活用できます。本計画では小さな木材を作る事で、国産材の未利用部を有効活用した木質空間を実現しました。

製造過程では障害者の方が面取加工を施す等、福祉においても意義がある試みとなりました。木材は反り等の不確定要素を含んだ素材で大工工事が一般的ですが、リノベーションの普及と共に内装利用は拡大し、小さな木材とすることで不確定要素の発生を低減させ、施主によるDIYを目指しました。子供が積み木を積むように直接触れる事で木材の良さを伝え、木材利用の普及を目指します。また、都市では家の引越しやオフィスの移転が頻繁に行われています。

特に移転では多くの建材において施工時、解体時に費用がかかります。無垢の木材は表面を研磨すると綺麗な面が生まれ、傷などの風合いを楽しめるのでリサイクルに優れた素材です。本計画の小さな木材は実(さね)でジョイントし、壁面全体は数力所程のビス止めで固定、接着剤の使用がないので、解体すれば再利用が出来ます。都市の経済活動に合わせた木質製品を作る事が山側に求められていると考えます。

木を使う目的、「山を健全な形で持続させる」為に、未利用部も有効活用し山林所有者にお金を還元できれば、新しい林業家の育成に繋がり、山を持続可能に保全することができます。日本の貴重な森林資源を後世に残す事ができる為、山の持続性を考えたデザインが重要と考えます。



各シェアオフィスを区切る壁面は小さな木材を木下地の上に積み上げて構成



外観 写真:鳥村綱一写真事務所

所在地:東京都渋谷区松濤
智頭杉:幅200mm/高さ70mm/厚み15mm



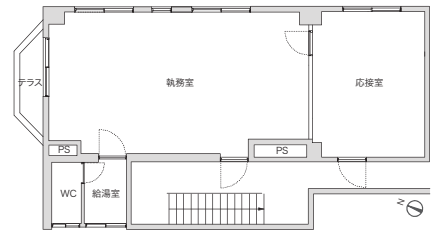
写真：鳥村鋼一写真事務所



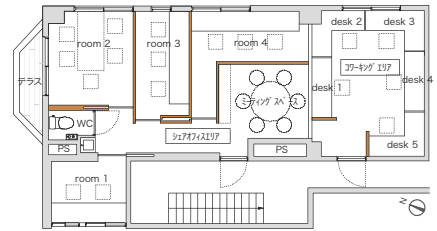
①間柱に横帯を留める ②横帯に横み上げる ③縦帯で繋げる ④横帯、縦帯を小さな木材の突(さね)にはめ込む ⑤1段おき、600mmピッチでビス止め



写真：鳥村鋼一写真事務所

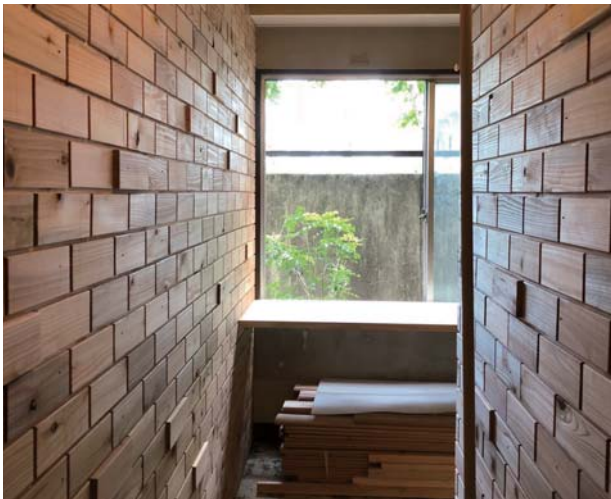


【改修前平面図】



【改修後平面図】

●●● 木材を積み上げた壁



丸太から柱を製材する際に余る部分など木材の未利用部を有効に活用し、歩留まりを向上させる。



検討用の模型写真(room 2を見る)



小さな木材を積上げる施工



ギャラリー全景

08 奨励賞 G735 Gallery

受賞者

株式会社東京アーキテクトアンドアソシエイツ

「大きな木箱」から 街路へ表出するディスプレイ空間

従来の車の売買仲介からお客様同士を直接結び売買を行う形態に進化した銀座7丁目のカーギャラリーである。ショールームは通常車体をいかに美しく見せ、角度や時間帯による知覚の差異を平準化する均質な空間を要求されるが、この場所では特定の方が保有する付加価値の高い車を展示し人を結ぶため「車」から「生活や文化」まで発信の射程を拡張し、「ここでしか」体験できない偏差のある特異な空間を求められた。硬化遅延材を施したシートにより図と地を表現し打設したプレキャストコンクリート床版を1400枚使用し、銀座全域の縮図をS:1/43のミニチュアカーのスケールで描いた「GINZA MAP」を床全体に敷設することで銀座の街路空間へシームレスに連続している。

既存建物の外装ラインと構造体のクリアランスが非常に少なく照明化するのも難儀するなかでも、銀座の外堀通りの街並みの一翼を担う場所の意義を表現するため、1階部分全体を「大きな木箱」として街に表出することを試みた。

広い間口を活かすとともに内部も同様に木質化を施すことで、夜景においては柔らかな行灯のように優しく内部の光が灯る空間が立ち現れた。内部のホルーパーは600×2500mmの単位のユニット化され脱着可能なパネルを製作し壁面に施した。

海外旅行者の訪問を想定し、現在も日本文化やアートの展示が定期的に開催されている。木質化による日本の表情の伝達に寄与することを願っている。



実車と銀座の縮図が併置された展示スペース

所在地：東京都中央区銀座



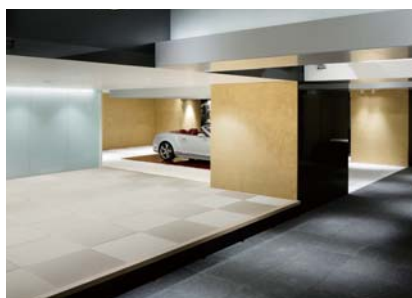
交詢社通りから眺めるホルルーバーにより木質化されたショーケース



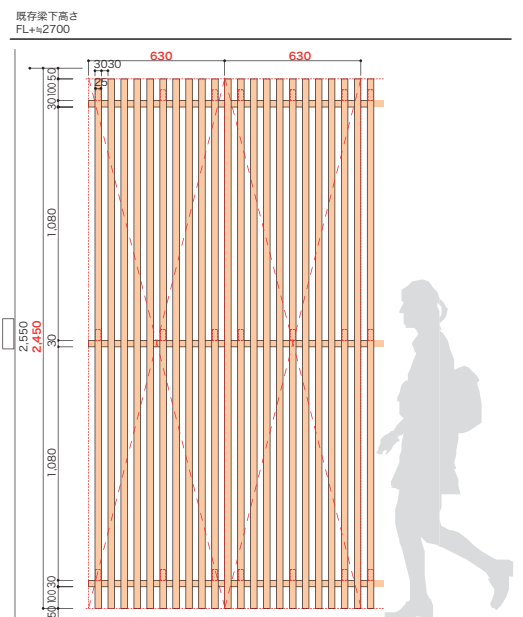
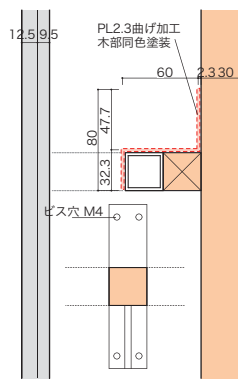
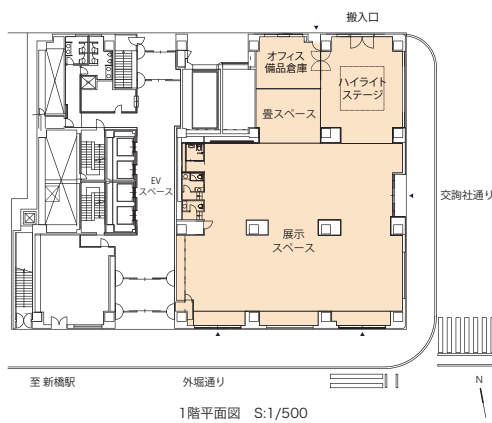
外堀通り側のショーケースから眺めた空間全景



S:1/43のミニチュアカスケールで描かれたGINZA MAP



茶室空間とハイライトステージを眺める





Turn Tableを象徴するレストランの長テーブル。徳島県神山町の一本杉を使用し、創り出した空間。

09 奨励賞 TurnTable

受賞者

株式会社TurnTable
株式会社ゲンボク
株式会社フォレストバンク

徳島の食材を主役としたレストラン・バル、宿泊施設、マルシェ、交流スペースの4つの機能を併せ持つ、「都会の中のオーベルジュ」をテーマにした体験型施設。地方の自治体が県外にPR目的に宿泊機能を有する施設を運営するのは国内初。内装には徳島県産の木材、石材を使用し、照明器具の傘部分の色はスタチの緑と藍色、ソファは鳴門金時の赤、など細部にまで徳島を意識している。

食や宿泊を通じて徳島の持つ価値に触れてもらい、モノ(商品)ではなくコト(体験)を基に徳島の魅力を発信してもらえるような運営を目指している。

『徳島の杉』

施設名である「ターンテーブル」とは「**帰帰する食卓**」を意味し、「国内外の方々に、**徳島の食材を囲む食卓(テーブル)**での交流を通じ、徳島ファンとなり、**徳島帰帰(ターン)**してもらいたい」という想いを込めた。このレストランの長テーブルや床等、内装や家具の多くに徳島県産の杉を使用している。徳島県神山町の山に分け入り、つくる「モノ」から逆算して杉の選定を行い、樹齢70年・高さ30mの杉を一本無駄なく使っている。

『徳島×渋谷－新しい文化の発信拠点へ』

ターンテーブルでは、徳島の文化や価値と、渋谷の持つ先進性がぶつかり合い、よりクリエイティブな場が広がる拠点となることを目指している。ターンテーブルで使う杉の選定から伐り出し、製材・加工まで、全ての工程に関わることで、徳島と渋谷をつなぐストーリーを具現化した。



1階 ステージ・ソファ席



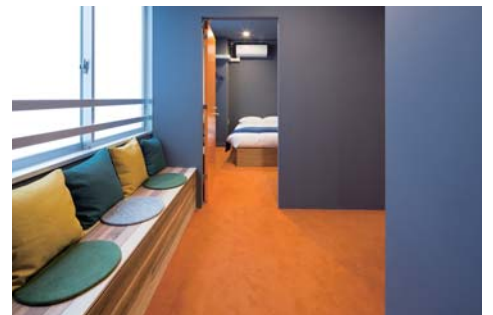
外観



所在地: 東京都渋谷区神泉町



1階 ステージ・ソファ席

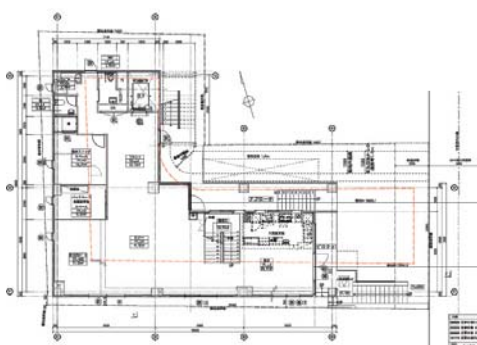


2階～4階 窓際ベンチ



徳島県神山町上分で製材所を営む
金泉さんの山から伐り出された一本杉。

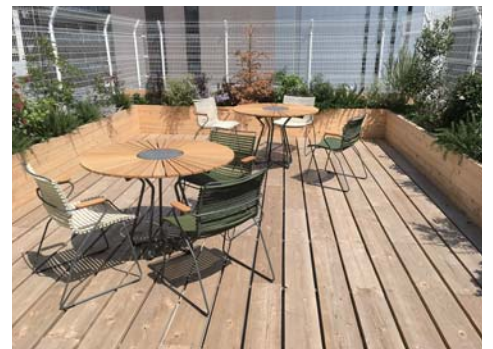
「これも僕のひいじいさんくらいが植林した木なんでね。
私たちがうちの世代が大きくなったら有効利用してくれるって
僕のために植えてくれたような木なんでね。
こうやって人のために、特に都会に行って
都会の人がいいなあ、神山杉いいあって
一人でも思ってくれたら僕は非常に幸せです」



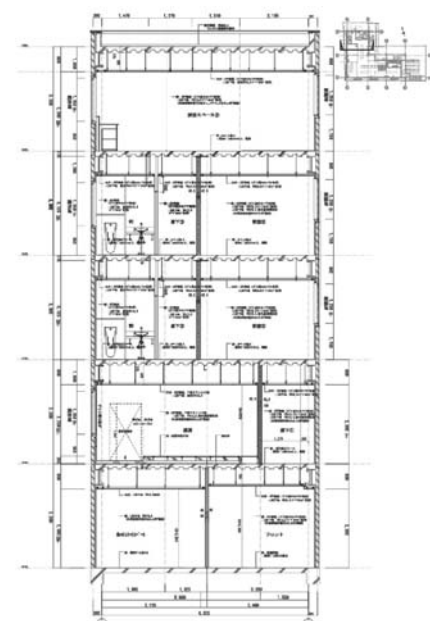
1階 平面図



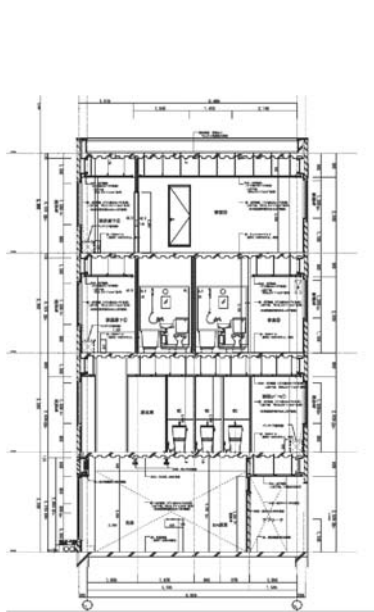
2階 平面図



5階 デッキ



断面詳細図 -1



断面詳細図 -2



徳島の食を囲むことで生まれる
人と人とのふれあい。



様々なワークショップを開催
(写真は神山町の梅でシロップづくり)



移住促進PRイベント

ウッドシティTOKYOモデル 建築賞 受賞作品所在地情報



01 みやむら動物病院

〒132-0021 江戸川区中央2-5-15

●アクセス

JR総武線「新小岩駅」から都営バス「江戸川区役所」下車(江戸川区役所から 徒歩3~4分程度)

URL <https://m-petclinic.com>

施設見学をご希望の際は下記までご連絡ください。

有限会社ビルディングランドスケープ級建築士事務所

Tel.03-5954-7633 / E-mail : i@buildinglandscape.com



02 星野リゾート OMO5 東京大塚

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-26-1

●アクセス

JR山手線「大塚駅(北口)」、都営荒川線「大塚駅前駅」からそれぞれ徒歩1分

URL <https://omo-hotels.com/otsuka/>

4階カフェ・パブリックスペース：外来見学・利用可能(7:00~23:00)

※その他客室エリアは宿泊施設のため基本的には御宿泊を御願いしております。

宿泊予約に関する問い合わせ：<https://omo-hotels.com/>

Tel.0570-073-022(星野リゾート予約センター 9:00~20:00)



03 日本橋とやま館

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル1F

●アクセス

東京メトロ半蔵門線・銀座線「三越前駅」B5出口から徒歩0分

URL <https://toyamakan.jp/>

営業時間 ショップフロア 10:30~19:30

和食レストラン 11:30~14:30、17:00~22:30(日・祝~21:00)

バーラウンジ 11:00~21:00



04 大学セミナーハウス Dining Hall やまゆり

〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1

●アクセス

京王線「北野駅」から京王バス「南大沢駅行」または「由木折返場行」約10分
「野猿峠」下車、徒歩5分

URL <https://iush.jp/>

施設見学をご希望の際は、大学セミナーハウス フロントまでお問い合わせください。

Tel.042-676-8511 / E-mail : info@iush.jp



05 山香煎餅本舗 銀座店

〒104-0061 東京都中央区銀座7-8-1

●アクセス

東京メトロ「銀座駅」A2出口から徒歩4分

JR「新橋駅」から徒歩8分

URL <http://www.yamakosenbei.co.jp>

営業時間 11:00~20:00(月~金)、10:00~19:00(土日祝) 定休日 なし



06 猿楽十方楼

〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町6-7 モンプレ代官山

●アクセス

東急東横線「代官山駅」から徒歩7分 / JR山手線「渋谷駅」から徒歩10分

URL <http://mhaa.jp/works/spdt>

施設見学の際の問い合わせ先：平井政俊建築設計事務所

Tel.03-5708-5806 / E-mail : mhaa@mhaa.jp



07 松濤ラナイ(シェアオフィス)

〒150-0046 渋谷区松濤1-26-18 園ビルディング2F

●アクセス JR山手線「渋谷駅」から徒歩12分 / 京王線「神泉駅」から徒歩5分

URL <http://www.shotolanai.com>

<https://www.facebook.com/shotolanai> / <https://www.instagram.com/shotolanai>

施設見学をご希望の際は下記までご連絡ください。

Sデザインファーム株式会社

Tel.03-6280-7397 / E-mail : info@s-designfarm.co.jp



08 G735 Gallery

〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビル1F

●アクセス

東京メトロ「銀座駅」(銀座線、丸ノ内線、日比谷線)下車

C2出口から外堀通りを東急プラザ銀座を右手に徒歩約3分 銀座西六丁目 交差点角

URL <http://www.g735gallery.com>

営業時間 11:00~19:00 定休日 火曜



09 TurnTable

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町10-3

●アクセス

京王井の頭線「神泉駅」から徒歩3分

JR「渋谷駅」よりマークシティ経由で徒歩13分

URL <http://turntable.jp/>

施設見学の際の問い合わせ先：Tel.03-3461-7722 / E-mail : tokushima@turntable.jp

ウッドシティTOKYOモデル 建築賞 受賞作品集

発行日

2019年3月

制作

凸版印刷株式会社

発行者

東京都産業労働局農林水産部森林課

協力

株式会社 ATELIER OPA

有限会社ビルディングランドスケープ

株式会社くらし工房大和

株式会社佐々木達郎建築設計事務所

有限会社 七月工房

サイト一級建築士事務所

相羽建設株式会社

稲山貴則建築設計事務所

平井政俊建築設計事務所

富山県

株式会社 乃村工藝社

Sデザインファーム株式会社

株式会社東京アーキテクトゥアンドアソシエイツ

株式会社TurnTable

株式会社ゲンボク

株式会社フォレストバンク